第 177 回誘電・絶縁材料技術委員会（案）
日時：平成 17 年 6 月 9 日（木）、13:30-15:45
場所：北九州国際会議場、第 33 会議室（北九州市小倉北区浅野三丁目 9 番 30 号）

出席者：（順不同、敬称略）：岡本委員長（電中研）、田中（早大）、穂積（豊橋技科大、兼長尾代理）、杣（日立電線）、中坊（日新電機）、本城（三菱電線、宮下幹事代理）
内田幹事（中部電力）、岡下幹事補（昭和電線）、西川幹事補（芝浦工大）

資料番号：
番号なし　第 176 回誘電・絶縁材料技術委員会議事録案
177-1　誘電・絶縁材料技術委員会　委員名簿
177-2　第 64 回基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会議事録
177-3　第 10～14 回ケーブル・電気機器のオンライン計測による絶縁劣化診断調査専門委員会議事録
177-4　ナノコンポジット材料の誘電・絶縁応用技術調査専門委員会解散報告書（案）
177-5　ナノコンポジット誘電体の界面現象と応用技術調査専門委員会設置趣意書（案）
177-6　委員会構成員変更届
177-7　調査専門委員会フォローシート（2005 年度計画）
177-8　誘電・絶縁材料技術委員会の活動方針について（案）
177-9　平成１７年度誘電・絶縁材料研究会、技術委員会、その他行事案（４次案）
177-10　誘電・絶縁材料シンポジウムの開催地リスト
177-11　平成 17 年度技術委員会見学会について

議事：
１．前回議事録について
　西川幹事補が読み上げ、承認された。

２．委員交代について
　山之内委員（日新電機）の後任委員である中坊氏（日新電機）および新１号委員にご就任予定の本城氏（三菱電線）の紹介があった。また、７月以降、宮下幹事から田中幹事（武蔵工大）、後藤委員から本間委員（電中研）への委員交代予定が報告された。

３．資 177-1 について
委員会名簿である。
・訂正：小山委員（東芝）→清水委員（東芝）、宮下幹事（三菱電線）→本城委員（三菱電線）、２号委員：金子委員→加藤委員

４．資料 177-2 について

第 64 回 A 部門研究調査専門委員会議事録である。代理出席した岡下幹事補より説明がなされた。中期研究計画について説明を行ったとの報告がなされた。

５．資料 177-3 について

第 10～14 回ケーブル・電気機器のオンライン計測による絶縁劣化診断調査専門委員会議事録である。内田幹事より説明がなされた。技術報告書作成準備状況について内田幹事より説明がなされた。アジアの動向等最新の情報を盛り込むとのことである。田中委員より、オリジナルデータがあれば、CIGRE の活動とリンクして頂きたいとの意見があった。検討するとのことである。１２月終了１，２月までにまとめるとのことである。

６．資料 177-4 について

ナノコンポジット材料の誘電・絶縁応用技術調査専門委員会解散報告書である。田中委員より説明がなされた。報告書の作成（12 月までに）、講習会の開催等について、報告がなされた。中国、米国の研究動向も活発になってきており、ISEIM2005 においても報告例が多かった。講習会は 6 月開催とすることが承認された。その他、調査報告書で、第３章訂正：「ポリマーナノコンポジット」→「ナノ粒子」等訂正の後、岡本委員長より訂正することで、承認された。

７．資料 177-5 について

ナノコンポジット誘電体の界面現象と応用技術調査専門委員会設置趣意書である。前回委員会の成果をふまえて、田中委員により説明された。

- 本年 10 月から 3 年間の予定で新規委員会の設置を予定しており、次回までに、委員名簿を確定する
- 努力目標として、二期目の委員の 80%が電気学会委員であることに留意する必要がある
- A 部門誌の特集号（英文）で、「ナノコンポジット」で来年 11 月号に決定とのことである。Call for Papers を出しており、10 編程度の投稿が期待されている。

新委員会を設置する方向で進めることが承認された。

８．資料 177-6 について

委員会構成員変更届であり、岡本委員長より説明がなされ、承認された。

旧：金子委員長→新：加藤委員長（同委員会幹事）、旧：加藤幹事→新：新保幹事

９．資料 177-7 について

調査専門委員会フォローシート（2005 年度計画）である。

・　ポリマーがいし委員会の新設、時期の確認
・　インバータサージ委員会の代替案の検討
・　「機器絶縁の最新部分放電計測技術」の技術報告書（木村委員長）について、岡本委員長より確認する。
・　宮下幹事の後任である田中新幹事（武蔵工大）への引き継ぎ

等を確認した。

１０．　資料 177-8 について

誘電・絶縁材料技術委員会の活動方針案であり、A 部門研究調査運営委員会に提出されたものである。中期研究計画について、岡本委員長より説明がなされた。

・　キーワードとして、誘電性機能材料、宇宙関連、環境、アセットマネジメントを入れたとの説明がなされた。
・　「活動の目的」に「ナノコンポジット材料」を追加する
・　電線会社の場合、再編後の会社が絶縁をやっていて、親会社が新規性の高い研究開発行っている場合があるので、委員構成に留意する必要がある。
・　材料メーカを１号委員のメンバーに入れたい

などの意見等があった。

１１．　資料 177-9 について

平成１７年度誘電・絶縁材料研究会、技術委員会、その他行事案（４次案）である。

・　次回委員会は、A 部門大会に合わせて 8/24（水）開催予定とする。
・　12 月開催予定の「新機能性材料、電子・誘電材料、ナノテクノロジー」は削除

などが確認された。

１２．　資料 177-10 について

誘電・絶縁材料シンポジウムの開催地リストである。次回、開催場所について検討した。千葉大での開催が検討され、賛成された。委員長より、開催の可否について千葉大山野先生に打診することした。

１３．　資料 177-11 について

内田委員より、平成 17 年度技術委員会見学会について、上期には、愛知万博新エネルギープラント未来のエネルギー探求ツアー（NEDO 主催）、下期には SPring-8（兵庫県）を予定しているとの報告がなされた。上期については、調査専門委員会にも声を掛けて参加者を募集している。6/27 開催 14:00-15:00 を予定している。

１４．　資料 177-12 について

岡本委員長より、誘電・絶縁材料技術委員会１号委員の退任条件の設定とシニア会の設立について（案）の説明がなされた。

・　すでに小崎、高田、水谷委員の各先生方から退任希望が出ている。
・　１号委員資格に関する内規として、IEEE DEIS の規定にならって 3 回以上続けて技術委員会を欠席した場合（代理可能)、自動的に退任する

などの案が提案された。

シニア会の設置についても、是非を検討し、以下の意見が出た。

・　日時を早く知らせる、１年分決めるなどを行うべき。
・　規定中の文の訂正：「自動的に」→「本人に確認の上」
・　代理出席だけでなく、委任状も認める、
・　１号委員には、見学会、研究会等の役割分担を依頼する、
・　シニア会は不要ではないか、

規約を一部訂正の後、本件について、メール審議して頂くことが承認された。

後任の１号委員の選任については、

・新１号委員として、4 人（材料 2 社、計測関係 2 社）を入れたいので、候補者をご推薦いただきたい。
・電力ケーブルの新会社と親会社との関係を検討して、委員構成を決めて頂きたい。

などの方針が示され、具体案を幹事団で検討することとした。

１５．　資料 177-10 について

ISEIM2005 事務局高橋氏より説明がなされた。登録者は 23 カ国から 170 名程度、多い順に日本、中国、韓国、イギリスの順序であったとのことである。

１６．　次回技術委員会予定

日時：8 月 24 日（水)、場所：東京